

提出締切：9月4日（水）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名

萬亀山らす子

研修等の名称：北海道町村議会議長会議会広報研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

・講演「読者に読まれる議会報の企画と編集」に参加して

議会広報を作成するには企画力と編集力が大事であることは様々な研修会で勉強して来ており感じていることでした。議会側の一方通行だけでは町民側には伝わらない。議会用語、行政用語を解説し、先ず地域の課題。将来発生する諸課題を一緒に共感、共有、納得してもらい、編集方針を明確に伝えることが大事であると思いました。より多くの町民に議会広報を手とってもらい情報を知ってもらうために、町民には丁寧な編集を心掛けて取り組んでいくことが大切だと感じました。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

提出締切：9月4日（水）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 雄谷 幸裕

研修等の名称：北海道町村議会議長会議会広報研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

No. 1

地域住民が議会に対する関心を高めるための一つのツールである議会広報誌をより多くの住民に読まれる議会だよりにするには、企画（何を伝えるか）と編集（町民が納得するか）についての講演でした。

1. 議会の広報広聴活動がなぜ必要か

地域課題の情報共有、問題意識の共有、課題解決への共感、参加が必要であり、町・議会・町民の意識・行動変容を促進することで、三者の信頼・協働関係を構築・維持することが広報広聴の本来の目的である。

2. 議会だよりの何を変えるか

情報に関心を持つことで、問題意識が生まれ行動につながることから、記事に関心をもってもらうことで、議会への関心につながる。住民生活に与える影響を考慮して量を削減、選択して深堀することで質の向上を図る。

住民の声を聴いている、受けとめていることを伝え、地域に対する住民の生の声を伝える。議会の活動がまちを変えたことを伝える、追跡記事が大切である。

見出し（目をひく、目にとまる）を変える。リード文を読みやすくする（予測情報を与えることによって読み始めてもらう）。紙面の線を細くし、色を薄くしてみる。グラフは

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

提出締切： 9 月 4 日（水）

雄谷 幸裕

No. 2

大きくシンプルにしてみる。 人物写真はアップ目に撮影して人の感情・行動を伝える。

文字数を減らす、文字サイズの調整、行間の調整、余白の確保が必要である。

3. メディアの戦略的広報

広報誌、チラシではターゲットにどうなってほしいかを限られた紙面のなかで、何を伝えるか(情報量・質)、どのように表現するのか(見やすさ、読みやすさ、わかりやすく)を戦略的に考える必要がある。

多様な情報を多様な方法で掲載できるウェブサイトでは、易しく、わかりやすく表現すること。

4. 議会報クリニック

広報コンクール審査員の視点からの6町村議会だよりのクリニックでは、テーマ(議案審議・委員会報告・一般質問・広聴)ごとの講評が実践的な内容でした。

今回の研修会で議会だよりに関心の低い人が読んでみようかなと目に映る紙面を目指します。

提出締切： 9 月 4 日（水）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名

齋藤 弘樹

研修等の名称： 北海道町村議会議長会議会広報研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

本講演により、今後どのような議会だよりを作成すればより多くの町民に
読んでいただくことが出来るのかイメージすることができました。
中でも、広報活動というのは単なる情報発信ではなく、問題意識を持って
もらうこと＝意識行動変容を促すことという点において気づきがありました。
今後の議会だよりを作成する際はこの点を意識し、町民の方に自分事として
考えていただけるような議会だよりを作成していきたいと感じました。
また、限られた誌面でなにを伝えるか、なにを削るかも意識していく必要がある
と改めて感じました。誌面上では質の高い情報を強く伝え、補足の情報などは
議会のホームページで発信していくといった、誌面とネットをうまく連動させ、より
議会がどのような役割を果たしているか理解してもらえそうな情報発信を行い
たいです。
技術的な面においても、罫線の使い方やフォント、行間等レイアウトに関する講
話も大変参考になりました。
学生からご年配の方まで幅広く読みやすいと感じて頂けるような議会だよりを
作成していけるよう、今回の講話を参考にしながら編集作業に努めていきます。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 大庭 克彦

研修等の名称：北海道町村議会議長会議広報研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

今回の研修で改めて議会における広報広聴活動の重要性を再認識しました。議会の広報活動としての「議会報」の発行は単に情報伝達的手段ではなく、「議会報」を通じて住民の方々と地域の課題や問題意識を共有し、共に課題解決に向けて協働していくための大切なツールであり、住民の方々と議会との信頼・協働関係を構築・維持していくために必要不可欠なものであるので、「議会報」を読まれる住民の方々の目線にたって、一人でも多くの方々に読んでもらえるような紙面の構成や掲載記事の精査、記事の編集などが必要であること、また「議会報」を読んだ方々が単に記載された記事を読んで事実を知る「認知」だけではなくて、いかにその記事に「関心」をもってもらい、議会活動はもとより地域の課題や解決しなければならない問題について理解・共有してもらえるような内容にすることが重要であると痛感したところであり、非常に有意義な研修に参加させて頂き感謝致します。

今後においては、議会広報委員として今回の研修内容を十分生かして、より多くの住民の方々に見ていただき、議会活動に関心を持ってもらえるような「広尾町議会だより」の作成・発行を目指して努力して参りたいと考えています。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会